

年 組 名前：



藤井 駿伍
木場 菜摘



南北自由通路に設置された椅子や机＝JR竜王駅

AI交通市全域で試行

甲斐竜王駅に椅子、軽食も

甲斐市地域公共交通会議は、「AIオンデマンド交通」の実証実験を進めている。4回目の運行で、初めて対象エリアを市内全域に広げた。車の乗り継ぎ場所「モビリティハブ」になっているJR竜王駅では、待ち時間を快適に過ごしてもらおうと椅子などを設置。軽食を提供する店も出店している。〈藤井駿伍〉

市経営戦略課によると、AIオンデマンド交通は、乗客が希望する区間を事前予約してもらい運行するサービス。実証実験は2022年度から始まり、期間や実施エリアを変えながら3回実施してきた。効率的な配車などを理由に、1台あたりの運行エリアは旧町単位に限定。エリアをまたぐ移動は、駅や商業施設などに設けたモビリティハブで乗り換える必要がある。今回の実証実験は11月1日から12月22日まで。モビリティハブの一つであるJR竜王駅の南北自由通路に椅子や机を設置し、市営バスの運行状況が分かるデジタルサイネージも備えた。毎週水曜日の午後4～7時には、パン店やコーヒー店などが出店している。

今後は利用者のアンケートも参考に、椅子と机の設置や出店を継続するか検討する。利用などの問い合わせは市経営戦略課、電話055(278)1678。

(2024年11月26日付 山梨日日新聞18面)

問1

甲斐市で実証実験を進めている「AIオンデマンド交通」とは、どのようなサービスですか。

.....

問2

今回の実証実験でJR竜王駅は、どのような取り組みを行っていますか。

.....

問3

今後の「AIオンデマンド交通」の普及について、あなたの考えを教えてください。

.....